

全関労 大橋病院ニュース

UNION BRIDGE

ユニオンレイジ(怒りの団結)

2025年5月13日

No. 49

発行者：全関東単一労働組合 台東区小島1-8-7 zenkan1972@yahoo.co.jp

非正規職差別・女性差別撤廃！ 同一労働・同一賃金・同一労働条件をかちとろう！

法人・病院・看護部の患者無視・労働者無視の金もうけをゆるさない！

業務にみあった人員を確保し、安全で安心して働くことができる職場にするために声をあげよう

「10時退院・11時入院」通知（11月18日付）を撤回せよ！

前号ニュース（No. 48）でも報告しましたが、組合は「10時退院・11時入院」に抗議し、中止を求め続けてきました。しかし病院は看護補助者が欠員中でも、1人勤務の日に10人の退院を強行するなど、現場に労働荷重を押し付け続けています。この間の団交で組合が昨年院長交代後に午前入院が常態化したと主張したのに対し、看護部長は「以前からあった」と抗弁しました。午前入院の責任は病院にないと誤魔化そうとしたのです。そこで病棟ごとの入退院時間を全て明らかにし、病院運営の責任者である院長にも団交に出席するよう要求しました。

4月24日団交で病院は、看護部長が作った極めて恣意的な「資料」を示して、「以前からあった」ことだと、なおも言い逃れようとしてきました。組合は、現場からの悲鳴に近い窮状を無視するあまりにも不誠実な対応に強く抗議しました。

その結果、ようやく病院（看護部長）は、昨年11月18日付で患者サポートセンターから各所属長宛に「退院は原則として午前中、入院日に検査等がある場合は10時入院でそうでない場合は11時」という通知を出したことを明らかにしました。目的が「稼働率を上げるため」（看護部長）であったことも認めました。

しかも、「みんなで収益増に協力を」などという師長文書を各人に下す一方で、この通知文書は、業務を行う病棟労働者や業務を請け負う業者などにも、明らかされないまま強行されました。こんな方針を知ったら、組合はもちろんのこと、現場労働者から反対の声が上がるのがわかっているからでしょう。

団交の最後で、ようやく看護部長は、「11月から何カ月かたったので10時退院、11時入院の業務の煩雑さを含め評価を出して継続するか検討する」と回答しました。今後、土曜・休日の入退院についても問題にしていきます。

「病床稼働率100%を前提にした人員配置」??!

病院は、ベッド稼働率は「2022年には88.9%」だったが「今年は92.1%になった」（総務部長）と「成果」を誇りたいようです。その結果、現場が過重労働で大変だということ、「4月1日付現在の人員配置は、稼働率100%で予算を出している。人員が407人のところ426人でオーバーになっている」というので、「病院はまだ人員に余力があると言いたいのか」と現状無視の暴言に強く抗議し、職場の実態を踏まえた必要人員の配置を要求しました。現場で業務を担っている労働者には何の説明もなければ意見を聞くこともなく、上からの指示命令ひとつで労働者、患者を病院の都合で動かすことは人権無視であり許せません。

皆様のご意見をお聞かせください。

看護部は、組合と協議・合意のない「新たな業務」実施についての4月看護補助者会議を延期

法人・病院・看護部は、これまで看護師がやっていた患者の「清潔ケア」を看護補助者に担わせると同時に、業務内容の変更に伴い「看護補助者の異動を行う」という「看護補助者の業務に関連する事項について」を昨年11月に提案してきました。

組合は、2022年以降にすでに「看護補助者に移行した業務」の具体的内容、その妥当性の評価について明らかにし、「収益増のため」として、患者や看護職員の安全を無視した業務の移行を強行するなど抗議しています。

4月26日団交で、看護部長は「4月末の看護補助者会議は延期する」と回答し、5月15日予定の看護補助者会議は「団交で組合に説明できたら看護補助者会議したかった」と言いました。

組合との協議・合意のない「新たな業務」を職場で説明して強行実施することは組合無視の不法行為です。診療報酬を得る事だけを目的に、団交で説明すればあとは看護補助者会議で説明して実施するという一方的強行実施をやめるよう、組合は4月26日団交でも抗議しました。組合は、金もうけのために不法行為（組合無視）・労働者への過重労働を強いる法人、病院、看護部を許すことはできません。

次回団交は、5月29日14時からです。ご注目とご支援を！

* 全関東単一労働組合大橋病院分会のニュースや法人・病院に提出した「申し入れ文」は下記に掲載しています。ぜひご一読ください。

<https://labours.wixsite.com/tanitsu>

<HPのコード: 右記コードで全関東単一労組のHPからも分会のページに入ることができます>

